

平成 25 年度

「学生によるオレンジリボン運動」



国際医療福祉大学大学院 実施報告書

実施主体 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 助産学分野修士 2 年生

実施内容 平成 25 年 10 月 12・13 日の大学祭にて啓発活動

① 前に取り組んだ内容

・運動の理解と活動趣旨の徹底、事前学習（法律、全国・栃木県の現状）・掲示資料作成(虐待の種類、全国・栃木県の虐待相談件数、相談窓口、チェックリスト)・オレンジリボンの作成。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

・オレンジリボン運動や児童虐待についての掲示物の展示。・児童虐待についての資料を提示、閲覧者への説明。オレンジリボン、リーフレットを配布。大学ポロシャツにリボンをつけた。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想

- ・虐待が減ることを願っている。
- ・児童虐待の原因や背景などについてもっと知りたい。
- ・虐待による心的外傷のリハビリについても調べてみたい。
- ・虐待が思ったより身近だと知った。
- ・命の誕生（家族の絆の深さ）の重みについて考えた。
- ・虐待と思われる子どもを発見したら、適切な対応をしたい。



<http://www.iuhw.ac.jp/>